

IPv6 のためのルールの作成および設定は WAP121 および WAP321 アクセス ポイントに Access Control List (ACL) を基づかせていました

目標

Access Control List (ACL) はセキュリティを向上するのに使用されるネットワークのリストトラフィック フィルタおよび関連させた操作です。アクセス制御リストはまたはネットワークデバイスへの拒否されたアクセス権許可されるホストが含まれています。トラフィックが定義されたホップごとの動作に従ってストリームおよびある特定の QoS 相違に分類されるようにする QoS 機能は差別化サービス (DiffServ) サポートが含まれています。

この技術情報は WAP121 および WAP321 アクセス ポイントの IPv6 ACL を作成し設定する方法を説明します。

適当なデバイス

- WAP121
- WAP321

[Software Version]

- v1.0.3.4

IPv6 は ACL 構成を基づかせていました

IP ACL は IP スタックのレイヤ 3 のためのトラフィックを分類します。各 ACL は送信されるか、または無線クライアントによって受信されるトラフィックに適用される無線クライアントから一組の 10 までのルールです。各ルールはある特定のフィールドがネットワークへの割り当てまたは拒否アクセスに使用する必要があるかどうかを規定します。ルールはさまざまな基準に基づいていることができ、出典のようなパケット内の 1 つ以上のフィールドに、適用されるかもしれませんまたは宛先 IP アドレス、送信元ポートまたは宛先ポート、またはプロトコルはパケットを伝送しました。

IPv6 ACL の作成

ステップ 1. アクセスポイント設定 ユーティリティへのログインは QoS > ACL 『Client』 を選択し。ACL ページは開きます。

ACL

ACL Configuration

ACL Name: (Range: 1-31 Characters)

ACL Type:

ステップ 2. ACL Name フィールドで ACL の名前を入力して下さい。

ACL

ACL Configuration

ACL Name: (Range: 1-31 Alphanumeric Characters)

ACL Type:

ステップ 3. ACL 型ドロップダウン リストから ACL に対する IPv6 型を選択して下さい。

ステップ 4. 新しい IPv6 ACL を作成するために『Add ACL』 をクリックして下さい。

IPv6 ACL のためのルールの設定

ACL Rule Configuration

ACL Name - ACL Type:

Rule:

Action:

Match Every Packet:

Protocol: Select From List: Match to Value:

Source IPv6 Address: Source IPv6 Prefix Length:

Source Port: Select From List: Match to Port:

Destination IPv6 Address: Destination IPv6 Prefix Length:

Destination Port: Select From List: Match to Port:

IPv6 Flow Label: (Range: 00000 - FFFFF)

IPv6 DSCP: Select From List: Match to Value:

Delete ACL:

ステップ 1. ルールが設定されなければならない ACL 名前 ACL 型ドロップダウン リストから ACL を選択して下さい。

呼び出します。新しいルールが指定 ACL のために設定されなければならない場合ルールドロップダウン リストからのルールを『New』を選択して下さい。さもなければルールドロップダウン リストからの現在のルールの 1 つを選択して下さい。

注: 最大 10 のルールは単一 ACL のために作成することができます。

ステップ 3.処理 ドロップダウン リストから ACLルールのための操作を選択して下さい。

- 拒否—すべてのトラフィックをブロックします WAP デバイスに出入りするためにルールの基準を満たす。
- permit —すべてのトラフィックを割り当てます WAP デバイスに出入りするためにルールの基準を満たす。

注意： 割り当てか拒否が常に選択されれば暗黙の deny が各ルールの終わりがあるのでトラフィック割り当てルール割り当てを追加しなければなりません。

ステップ 4 各パケット チェックボックス一致する コンテンツに関係なく各フレームのためのルールかパケットを一致するためにチェックして下さい。追加一致条件の設定がほしいと思う場合、各パケット チェックボックス一致するチェックを外して下さい。

タイムセーバ: 一致する各パケット チェックボックスを[ステップ 12](#) にスキップすればチェックすれば。

ステップ 5 IPv6 パケットの IP プロトコル フィールドの値に基づいて L3 か L4 (IPスタックのネットワークおよびトランスポート層) プロトコル一致状態を有効にするためにプロトコル チェックボックスをチェックして下さい。プロトコル チェックボックスがチェックされる場合、これらの Radio ボタンの 1 つをクリックして下さい。

- から list —選択しますリスト ドロップダウン リストからの選択からプロトコルを選択して下さい。ドロップダウン リストに IP が、icmp、igmp、TCP、UDP (ユーザ・ データグラム・ プロトコル) プロトコルあります。
- 評価するべき一致—リストで示されないプロトコルに関しては。規格によって IANA 割り当てられるプロトコルID を及びます 0 から 255 まで入力して下さい。

ステップ 6 マッチ状態に出典の IP アドレスを含めるために出典 IPv6 Address チェックボックスをチェックして下さい。相対的なフィールドで出典の IPv6 アドレスおよび IPv6 プレフィクス長を入力して下さい。

ステップ 7 マッチ状態に送信元ポートを含めるために送信元ポート チェックボックスをチェックして下さい。送信元ポート チェックボックスがチェックされる場合、これらの Radio ボタンの 1 つをクリックして下さい。

- から list —選択しますリスト ドロップダウン リストからの選択から送信元ポートを選択して下さい。ドロップダウン リストに ftp が、ftpdata、http、smtp、snmp、telnet、tftp、www ポートあります。
- リストで示されなかった送信元ポートのために port —に一致する。範囲 0 に 65535 がおよびポートの 3 つの異なる型が含まれているポート番号を入力して下さい。
 - 0 から 1023 —よく知られたポート。連絡先ポートとしてサーバプロセスに使用されるポート。連絡先ポートは時々よく知られたポートと呼ばれます。
 - 1024 から 49151 —登録済みのポート。それはある特定のプロトコルまたはアプリケーションのために使用されるネットワークポートです。

– 49152 から 65535 —ダイナミックおよび/または私用 ポート。ダイナミックポートは IANA のようなあらゆる運営組織によって管理されないし、特別な使用方法制限がありません。

ステップ 8 マッチ状態に宛先の IP アドレスを含めるために宛先 IPv6 Address チェックボックスをチェックして下さい。相対的なフィールドで宛先の IPv6 アドレスおよび IPv6 プレフィクス長を入力して下さい。

ステップ 9： マッチ状態に宛先ポートを含めるために宛先ポート チェックボックスをチェックして下さい。宛先ポート チェックボックスがチェックされる場合、これらの Radio ボタンの 1 つをクリックして下さい。

- から list —選択しますリスト ドロップダウン リストからの選択から宛先ポートを選択して下さい。ドロップダウン リストに ftp が、ftpdata、http、smtp、snmp、telnet、tftp、www ポートあります。

- リストで示されなかった宛先ポートのために port —に一致する。範囲 0 に 65535 がおよびポートの 3 つの異なる型が含まれているポート番号を入力して下さい。

- 0 から 1023 —よく知られたポート。

- 1024 から 49151 —登録済みのポート。

- 49152 から 65535 —ダイナミックおよび/または私用 ポート。

Step10. 一致状態に IPv6 フロー ラベルを含めるために IPv6 フロー ラベル チェックボックスをチェックして下さい。出典によって IPv6 ヘッダの 20 ビット フロー ラベル フィールドが同じフローに属する一組のパケットを分類するのに使用することができます。00000 から IPv6 フロー ラベル フィールドの FFFFFF まで及ぶ数を入力して下さい。

ステップ 11： 一致状態に IP DSCP 値を含めるために IP DSCP チェックボックスをチェックして下さい。IP DSCP チェックボックスがチェックされる場合、これらの Radio ボタンの 1 つをクリックして下さい。

- リスト ドロップダウン リストからの選択から選択するために IP DSCP 値から list —選択して下さい。ドロップダウン リストに DSCP によって保証されるフォワーディング (AS) が、Class of Service (CoS) (CS) または Expedited Forwarding (EF) 値あります。

- 評価するべき一致— 0 から 63 まで及ぶ DSCP 値をカスタマイズするため。

ステップ 12： 設定された ACL をそれから削除したいと思う場合 (オプションの) 削除 ACL チェックボックスをチェックして下さい。

ステップ 13： [Save] をクリックして、設定を保存します。